

『事例研究 ～ 実践を理論的に見る～』

- ・実践を事例検討から一歩進んで、事例研究として広い視野で専門的に捉えてみませんか？
- ・皆さんと事例研究を一緒に行う有意義な時間にしたいと思います。
- ・新人からベテランまで経験年数を問わず、真のソーシャルワークを身に付けたい方、どなたでも歓迎です！

日時・場所：2023年11月29日（水）19:00～20:30

オンライン開催：ZOOM（申込後、招待アドレスを送付します）

参加費：無料

対象者：会員のみ

事前申込制：Googleフォーム <https://forms.gle/SCypwzefxyvAH4Lj7> ← クリック

申込み〆切：11月27日（月）

プログラム

会期日時	内容	事例提供者
11月29日（水）19時～	当日、共有します	松田 隆志（那覇市立病院）
1月〇日（水）19時～	同上	検討中

担当・お問い合わせ

樋口美智子（沖縄国際大学）

嘉手納泉也（大浜第一病院）

TEL：098-866-5171

Google form で以下の入力をお願いします。

1. 病院名（施設名） 2. メールアドレス 3. 氏名（ふりがな）

* 参加証はございません

◎ 申し込みをされた方へ ◎

- ・ZOOM アカウントは開催前日までに皆様へ送信いたします。
- ・事前の配布資料はございません。会の最中においても倫理的配慮を必ず行います。
- ・メールアドレスは正確に記載をお願いいたします。*勉強会目的以外には使用しません。
- ・「一緒に行く」をコンセプトにしているため、音声は適宜使用します。可能でしたらビデオはONでお願いします。また、指名してコメントをお願いする場合があります（パスも可能です）。

◎ 事例研究とは ◎

- ・実践活動を通して現実を構成している本質構造の解明および研究であり、仮説がある。「●●のような支援をすれば、△△のようなメカニズムによって、■■のような結果になる」。

◎ 前回、事例提供を行ってみたいの考察 ◎

患者はがん告知を受け、両下肢麻痺の突然の身体変化で今後の生活を思い描けないうでいた。ソーシャルワーカーは「身体障害者手帳」や「地域包括ケア病院」、「介護保険制度」の活用支援をすることで「ウェルビーイング」の実現を試みた。また、家族のストレングス、エコロジカル理論およびネットワークの活用にて社会生活機能の維持に向けてストレングス・アプローチを試みた。事例研究をとおして、人が生きていく「強さ」とそれを見ようとする「姿勢」の大切さを認識した。

（大浜第一病院：嘉手納 泉也）